



Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

電源をONにしてOSをセットアップします。

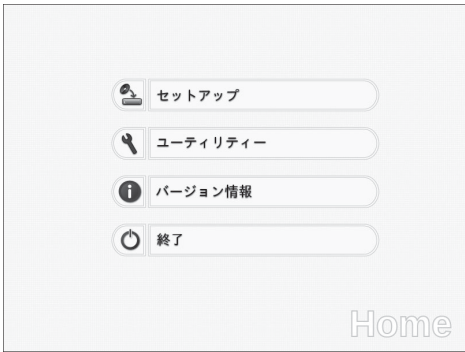
- ① ディスプレイの電源をONにします。
- ② POWERランプがアンバー点灯しているときは、消灯するまで待ちます。
- ③ 前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。

- 
 - 本機の電源ユニット構成は、2N (冗長)がデフォルト設定です。N(非冗長)もしくはN+1(冗長)の電源ユニット構成を選択する場合には、必ず、初回電源ON前に動作モード[PSU Redundancy]を適切な設定に変更してください。詳しくは、ユーザーズガイドの付録「2. 動作モード (2) リモートマネージメント」を参照してください。
 - 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。


- ④ 本機の構成やシステムの用途に応じてBIOSをセットアップします。また、OSによってはBMCやBIOSの設定を出荷時の値から変更する必要があります。インストールするOSに合わせて設定してください。設定方法はユーザーズガイドの付録「OS毎/SMS毎の設定」を参照してください。
無停電電源装置(UPS)と連動させるときなどは、BIOSセットアップユーティリティ(SETUP)を使って設定を変更します。起動後、すぐに<F2>キーを押してください。

- 
 - 「ユーザーズガイド」の「システムBIOSのセットアップ」を参照してください。

- ⑤ EXPRESSBUILDERを本機にセットし、再起動させてください。
EXPRESSBUILDERが起動し、ブートメニューが表示されます。
- ⑥ ブートメニューから、「OS installation」を選択します。
しばらくすると、ホームメニューが表示されます。



- ⑦ ホームメニューの「セッティング」を選択します。
- ⑧ 以降、インストールガイドに従って、OSのセットアップを進めます。
Windowsをセットアップするときは、「インストールガイド(Windows編)」を参照してください。
Linuxをセットアップするときは、「インストールガイド(Linux編)」を参照してください。


- 
 - インストールガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストールガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。


Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。
必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。

- 
 - 「管理PC」は、一般的なクライアントコンピュータを使って構築できます(本機を管理PCとして兼用できます)。

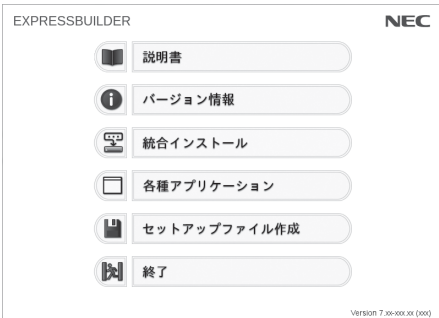
名 称	インストール先	概 要	対応OS	
			Windows	Linux
ESMPRO/ServerAgent Service	本機	本機の状態を監視することができます	○	○
ESMPRO/ServerAgent Extention	本機	本機をリモート管理できます	○	○
エクспレス通報サービス	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○
エクспレス通報サービス (HTTPS)	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	—
ExpressUpdate Agent	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます	○	○
Universal RAID Utility (URU)	本機	RAIDコントローラの管理、監視ができます	○	○
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます	○	○
Ezclot Viewer	本機	装置情報収集ユーティリティが採取した情報を表示することができます	○	—
RASツール	本機	RAS機能を設定することができます	○	—
BMC Configuration	本機	BMCを設定することができます	○	○
ESMPRO/ServerManager	管理PC	ESMPRO/ServerAgentServiceなどと連携し、本機を管理することができます	○	○
エクспレス通報サービス (MG)	管理PC	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます	○	○

Windows版のバンドルソフトウェアは、オートランメニューを使ってインストールできます。

- 
 - Linux版のバンドルソフトウェアは、「インストールガイド(Linux編)」を参照してください。

次の手順に従ってください。

- ① インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。
- ② Administrator権限のあるユーザーアカウント(ビルトインAdministrator)でログインします。
- ③ EXPRESSBUILDERをセットします。
オートラン機能が働き、次のようなメニューが起動します。



- ④ メニューの「統合インストール」または「各種アプリケーション」をクリックします。

- ⑤ インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。
- ⑥ 各バンドルソフトウェアのインストーラーなどが起動しますので、「インストールレーションガイド(Windows編)」などに従ってインストールを進めてください。

以上で、Express5800シリーズのセットアップは完了です。

トラブルが起きたときは

「メンテナンスガイド」には、トラブルシューティング、障害情報の採取方法、保守サービス会社に関する情報などが記載されています。こちらを参照してトラブルを解決してください。「メンテナンスガイド」は、「ユーザーズガイド」とともにEXPRESSBUILDERへ格納されています。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。
(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800(代表)
受付時間 / 9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。Red Hat、Red Hat Enterprise Linuxは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

© NEC Corporation 2016
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。